

こころ育てる絵本との出会い

マが'ちゃん通信

2017 6 - 7 vol. 44

絵本作家インタビュー

ひがし ちから

特集 絵本とは何か？



ひがしちから



ひがし ちから プロフィール

1972年大分県に生まれる。筑波大学芸術専門学群視覚伝達デザイン科卒業。
2004年、第5回ピンポイント絵本コンペで優秀賞を受賞。受賞作をもとにつくった『えんふね
にのって』(ビリケン出版)で、2006年に絵本作家デビュー。作品に『ぼくのかえりみち』『いま、
なんさい?』(BL出版)、『ぼくひこうき』(ゴブリン書房)、『ユキコちゃんのしかえし』(偕成社)、
『おむかえ』(佼成出版社)、翻訳書に『ニブルとたいせつなきのみ』(ビリケン出版)等がある。
現在、東京都三鷹市在住。

独特の色彩で描かれる
子どもならではの世界観。
絵本には何だか幸せな気分になるような
空気みたいなものが必要。

絵本原画展開催

平成29年6月1日(木)～7月20日(木)



『ぼくのかえりみち』(BL出版)
ある日、そらくんは道にかかれた
白線の上をたどって家に帰ること
にしました。落ちないように、ゆっく
りゆっくり、そろり、そろり。
立ちはだかる誘惑や障害の数々。
さて、そらくんは無事に家に帰れる
でしょうか。



原画
展示
絵本

ギャラリーでは、子どもも大人もそれぞれに楽しめる『ぼくのかえりみち』と『いま、なんさい?』の2冊をご紹介します。

ひがし ちから先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは?

大学生の頃、やってみたくことがたくさんありました。デザインもやりたいし、イラストも描きたい。写真も好きだし、物語も書いてみたかった。そんなとき大学の児童文学サークルで絵本と出会いました。何冊も絵本を読んでいくうちに、もしかしたら絵本って、自分のやりたいことが全部できるんじゃないかと思うようになりました。一冊の絵本の中に様々な表現方法が凝縮された作品になる…なんて面白いんだ!それから、すっかり絵本の虜になり、自分でも絵本を作るようになりました。

画材は何を使っていらつしやいますか?

アクリルガッシュを薄く塗り重ねて描いています。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『ぼくのかえりみち』

この絵本を作るとき、いろいろな人に学校の帰り道、何をしてたか聞いてみました。すると、出てくる出てくる奇妙キテレツな行為の数々。石や空き缶、氷を家まで蹴って帰るのはもちろん、道より高い所や影の上、ジャンケンしりと歌うたい、スキップ駆け足後ろ向き。途中にある家のピンポン全部押

しという強者までいました。帰り道というのは今も昔も子どもたちにとって、遊びの創作の場なんだなあとしみじみ思いました。

『いま、なんさい?』

今も週に一度、保育園へ絵や工作を教えに行っているのですが、そこで子どもたちにも必ずされる質問の一つがこれです。当時、最初に答えるのも飽きてきて、子どもたちを楽しませようと、ふざけてダジャレで答えました。すると、そのやりとりが楽しいのか、毎回必ず『いま、なんさい?』と聞いてくるようになりました。あまりにも子どもたちが喜ぶので、これは絵本になるかとも思っていました。昨日も、まさに絵本と同じ内容を子どもたちとやりとりしてきました。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は?

やはりデビュー作の『えんふねにのって』でしょう。か。素晴らしい編集者と出会え、自分のやりたかったことを全て詰め込むことができた絵本です。

絵本をお作りになるときのこだわりは?

絵本八訓というのがあって、それを大切にしています。

- ・物語の始まりは読者に魔法をかける
- ・子どもの目線や気持ちに、もつと、もつと入り込む
- ・物語には必ず作者なりの答え、着地点を用意する

- ・絵本は映画のように
- ・物語とは子どもの成長である
- ・絵本には何だか幸せな気分になるような空気みたいなものが必要
- ・残りの二つは秘密です(笑)。

絵本を通じてお伝えになりたいことは?

自分が良いと思える絵本を作るのに一所懸命で、あまり何かを伝えたいとか考えたことがないです。この絵本、楽しんでもらえるかなあとはいつも考えています。

今後どのような絵本を描いていかれますか?

動物が主人公の絵本を描いたことがないので、やってみたいです。

ご趣味についてお聞かせください。

アンティークの腕時計や陶器の置物が好きで集めています。

お好きな言葉を教えてください。

「大切なことは、大抵面倒くさい」です。

ファンの方へメッセージをお願いします。

読者の方々の声は、いつも制作の励みになっています。これからもよろしくお願いします!

ひがし ちから先生、ありがとございました!



『いま、なんさい?』
(BL出版)

ひがし ちから先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。

あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
ひがし ちから サイン本プレゼント係

締め切り 平成29年8月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。

『いま、なんさい?』(BL出版)
きょうは、ゆきちゃんの5さいのたんじょうびです。「わたしはいまなんさい、どうですか?」ゆきちゃん、は、みんなに聞いてみることにしました。でもみんなの答えは…。



『ぼくのかえりみち』



『ぼくのかえりみち』



ペルトネン 純子
富山大学芸術文化学部講師

\特集/ 絵本とは何か?

絵本が生み出す他者と共感する力

「絵本とは何だろうか?」そんな考えをいつも思い描きながら、「おおしま国際手づくり絵本コンクール」の審査員をさせてもらっています。平成21年度から審査員をする中で、本当に様々な経験や思いが、応募者の絵本に詰まっているということを感じています。子どもだけの本でもなく、大人だけの本でもない。言葉や文化の違いでさえも、飛び越えることのできる特別な力を持っている。そういう気持ちを、絵本の審査は私に与えてくれます。

平成27年度に教員免許状更新講習を担当した際、「絵本を通じた探究、コミュニケーション、振り返り」という科目を開講しました。この講習の目標は、「周囲との関係性の中から自分なりの考えに気付く方法を経験し、授業づくりや学級活動に活用できる力をつける」と設定していましたが、この講習のアイデアは、審査員をしていたからこそ発想できました。開講にあたっては、短い時間で効果的に深い気付きのできる環境にしておきたいと考え、募集人数を10人に絞るだけでなく、様々な絵本をすぐに手に取ることのできる射水市大島絵本館を講習会場としました。

当日の講習の流れは次の通りです。
①講習目標の理解。
②一般的な出版物の基本的な紙面構成について。
③「絵本とは何か」を考え意見をワークシートに記入。

④意見に対応する絵本を選ぶ。
⑤意見と絵本の発表と、意見交換した言葉を書き留める。

⑥一般的な出版物の紙面構成と、各自の選んだ絵本の紙面構成の違いについて。
⑦意見交換を踏まえ「絵本とは何か」についてワークシートに記入。

⑧意見と絵本の発表と、意見交換した言葉を書き留める。

⑨まとめ。

この流れを見る限りは、特別な講習には思えないかもしれませんが、参加された先生方からのご感想から、絵本の持つ力の再認識だけでなく、絵本というキーワードを踏まえるだけで年齢や分野を超えた効果的な会話になるということを実感して頂けたと思っています。

最近では、デザイン思考という問題解決に至るまでのプロセスの重視が多くされています。私の実施した講習は、このデザイン思考の過程のうち、導入ともいえる他者との共感を試行する方法を取り入れました。つまりこの導入過程を楽しむことのできた先生方は、異なる考えや経験を持つ人の問題を、自分のものとして捉えられる能力を身につけていると考えられました。そんな教育者としての高い能力をお持ちの先生方が、今後も、絵本を通して児童や生徒に関わっていただけたらと願っています。

私のおすすめ絵本

『もこもこもこ』

谷川俊太郎／作
元永定正／絵
文研出版(1977年)

うちの子が3歳の頃、私に読み聞かせをしてくれた最初の本です。



『たける 多毛留』

米倉育加年／作
偕成社(1976年)

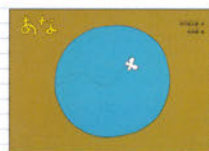
小学校の図書館にあり、絵に引き込まれました。



『あな』

谷川俊太郎／作
和田誠／絵
福音館書店(1983年)

とにかく小さいころから私の好きな絵本です。



『くろまるちゃん』 (しかけえほん)

デビッド・A.カーター／作
大日本絵画(2007年)

微生物の世界を想像させてくれるような世界観のある作品です。



『太古の世界 恐竜時代』 (しかけえほん)

ロバート＝サブダ／作
M.ラインハート／作
わくはじめ／訳
大日本絵画(2005年)

絵本なのに、ほとんど玩具として成立しているので驚きです。



『はらぺこあおむし』

エリック＝カール／作
もりひさし／訳
偕成社(2010年)

色彩の使い方が、なによりすごいなあと思います。





イベントレポート②

しかけ絵本100冊お披露目会
3/18~20

「かんぽさん」でおなじみの「簡易生命保険（かんぽ生命保険）」が誕生100周年を迎えたそうです。その記念事業の一つとして、かんぽ生命高岡支店より、射水市大島絵本館にしかけ絵本100冊の寄贈がありました。

春休みを目前に控えた三連休、パフォーマンスホールにその100冊を展示。来館者のみなさんに、手に取って楽しんでいただきまし。ページを開くと飛び出す、つまみを引くと張ると動く、ボタンを押すと音楽が流れる...という定番のものから、アニメーションのように絵が動くもの、絵本の上をミニカーが走るものまで、様々なしかけにあちこちから歓声が上がっていました。



イベントレポート①

香川元太郎 ギャラリートーク
& 迷路であそぼう! 3/25



迷路絵本シリーズでおなじみの絵本作家、香川元太郎先生とアシスタントの志織さん（実は先生の娘さん）が来館されました。『お化けの迷路』と『水の国の迷路』の2冊の絵本原画を前に行われたギャラリートーク

では、登場するお化けと妖怪のことや迷路に隠された秘密を教えてくださいました。午後からはスクリーンに迷路を大きく投影しての「迷路であそぼう!」を開催。先生扮するジャック・オー・ランタン（かぼちゃのお化け）から出題された問題に、みんなでチャレンジ! 迷路の通り方や隠し絵を解くのに子ども大人も無我夢中。会場中から「ハイ!ハイ!ハイ!」と手が上がる、熱気に満ちたひとときとなりました。

サイン会では、買ったばかりの新しい迷路絵本の他、何度も遊んだと思われる迷路絵本を手にした方も多く見受けられました。「絵本を買ってもらえるのはもちろんうれしいけど、ぼろぼろになった絵本にサインするのもうれしい!」と香川先生。この夏発売になる新作の迷路絵本が楽しみです。



射水市大島絵本館

2017年度
おすすめ絵本50冊

よちよちえほん

『べんぎんたいそう』
齋藤 樹/作 福音館書店
『だれかな だれかな?』
よねづ ゆうすけ/作 講談社
『やさいさん』
tupera tupera/作 学研
『もうぬげない!』
ヨシタケシンスケ/作 ブロンス新社
『あーそーば!』
やぎゅう まち/作 福音館書店
『きょうの おやつは なんだろう?』
ふじもと のりこ/作・絵 鈴木出版

むかしむかし

『さるかにがっせん』
山下明生/文 高島那生/絵 あかね書房
『あかべこのおはなし』
わだ よしおみ/わかやまけん/作 こぐま社
『アイヌのむかしばなし ひまなこなべ』
重野茂/文 といかや/絵 あすなろ書房

めいさく童話

『おおかみと七ひきのこやぎ』
グリム童話 フェイクス・ホフマン/絵 せたい/訳 福音館書店
『セロ弾きのゴーシュ』
宮沢賢治/作 赤羽末吉/絵 偕成社
『人くい鬼』
グリム/原作 こみねゆら/文と絵 あすなろ書房

人・いのち

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』
くさばよし/編 中川学/絵 汐文社
『ローラとつくる あなたのせかい』
ローラ・カーリン/作 ひろまつゆきこ/訳 BL出版
『おんぶは こりごり』
アンニー・ブラウン/作 藤本朝日/訳 平凡社
『天女銭湯』
ベク・ヒナ/作 長谷川義史/訳 ブロンス新社
『ぼののかえりみち』
ひがし ちから/作 BL出版
『はんなちゃんめがめをさましたら』
酒井駒子/文・絵 偕成社
『Life(ライフ)』
くすのきしげり/作 松本春野/絵 瑞雲舎

ものしり

『ワンガリの平和の木』
ジャネット・ウィンター/作 福本友美子/訳 BL出版
『ウミガメものがたり』
鈴木まもる/作・絵 童心社
『ラマダンのお月さま』
ナイマ・B.ロバート/文 シーリーン・アドル/絵 前田君江/訳 解放出版社
『ライフタイム いきものたちの一生と数字』
ローラ・M・シェーファー/文 クリスティー・サイラス・ニール/絵 福岡伸一/訳 ポプラ社

こよみ

『しめかざり』
森須磨子/文・絵 福音館書店
『サンタおじさんの いねむり』
ルイス・ファチオ/原作 前田三恵子/文 椿本幸造/絵 偕成社

いきもの

『コッケモーモー!』
ジュリエット・ダラス=コンテ/文 アリソン・パートレット/絵 たなかあきこ/訳 徳間書店
『ぼくだってトカゲ』
内田麟太郎/文 市居みか/絵 文研出版
『ネコツメのよる』
町田尚子/作 WAVE出版
『いちにちバタ』
大塚健太/作 くさみなこ/絵 小学館
『うさぎマンション』
のはな はるか/作 くらもも出版

のりもの・ファンタジー

『おもちのおふろ』
刈谷澄子/作 植垣歩子/絵 学研
『ふねくんのたび』
いしかわ こうじ/作・絵 ポプラ社
『ばけけけけけけけ ばけたくん かくれんぼの巻』
岩田明子/文・絵 大日本図書
『でるでるでるでる ねこさらい!』
高谷まちこ/著 佼成出版社
『ケチャップれっしや』
ザ・キャビンカンパニー/作・絵 鈴木出版
『ギュースターヴくん』
ヒグチユウコ/著 白泉社

芸術

『はじまりの日』
ボブ・ディラン/作 ボール・ロジャース/絵 アーサー・ゼナード/訳 岩崎書店
『はじめてのオーケストラ』
サム・タプリン/文 ショーン・ロングクロフト/絵 みた かよこ/訳 大日本絵画

しぜん・かんきょう

『やさいのがっこう とまとちゃんのだいだい』
なかや みわ/著 白泉社
『なつはひるね』
村上康成/作 フレーベル館
『さわってごらん! よるの星』
クリスティ・マシソン/作 大友 剛/訳 ひさかたチャイルド

詩・ことばあそび

『おみせやさんで くだいな!』
さいとうしのぶ/作 リーブル
『これは すいへいせん!』
谷川俊太郎/文 tupera tupera/絵 金の星社
『なぞなぞはじまるよ』
おなり修司/なぞなぞ文 高島 純/絵 絵本館

しかけ

『虫たち探検! 科学しかけ絵本シリーズ』
ジェン・グリーン/文 伊藤祐子・前田亜里/訳 大日本絵画
『マミー?』
モリス・センダック/絵 アーサー・ヨーク・リンクス/シナリオ マシュー・ラインハート/紙工作 きたむらまさお/訳 大日本絵画
『ドライブにしよう!』
フィオナ・ワット/文 ステファノ・グネッティ/絵 みずしま あさこ/訳 大日本絵画

つくろう・あそぼう

『バムとケロのおいしい絵本』
島田ゆか/監修 八木佳奈/料理・レシピ製作 文溪堂
『ゲーム・ブック No.1』
五味太郎/作 偕成社
『もしも せかいが たべもので できていたら』
カール・ワグナー/写真・文 今井信朗/訳 フレーベル館

8・9月イベント

シアター・パフォーマンスホール

開館23周年記念感謝デー

第12回絵本館まつり 入館無料

とき/8月20日(日)9時30分~16時30分

ゲスト/しげきひろし(けん玉師)

日本一のけん玉パフォー
マンスほか、絵本マー
ケット、ミニ縁日などを
開催。



11月18日(祝月) 60歳以上入館無料

とき/9月18日(祝月)
出演/林こころ(ソプラノ)ほか

カフェギャラリー

diikan 刺繍展
刺繍とビーズの楽しい時間 (仮)

とき/8月2日(水)~8月16日(水)

ガラスに込めた物語
蜻蛉玉丙午・工房展 vol.2

とき/8月17日(木)~8月31日(木)

アールブリュット展

村中洋介 Request from the sky
とき/9月2日(土)~9月15日(金)

とつておきのさをり織り展 in 富山
「さをり織り」ただひたむきに織る

とき/9月16日(土)~9月29日(金)

ギャラリー

ヨシタケシンスケ 絵本原画展

とき/7月22日(土)~9月21日(木)

展示原画

「りんごがもしない」
「もつぬげない」
(ともにブロンス新社)

